

内分泌代謝科

内分泌代謝科では、糖尿病、脂質異常症、バセドウ病、橋本病、甲状腺腫瘍、副腎疾患、下垂体機能低下症、電解質異常、栄養障害、痛風、副甲状腺疾患などの広範囲な疾患を扱っています。

専門外来も、月曜から金曜まで毎日診療を行っており、多数の患者に対応しています。

当院は糖尿病学会認定教育施設であり、電子カルテシステムでのクリニカルパスによる糖尿病教育入院(1週間コースと2週間コースあり)を初め、いろいろな病態に即した治療を行っています。特に最近では、妊娠糖尿病の患者の増加が顕著であり、産婦人科と連携して、手厚い管理をしています。糖尿病の足病変に対し、フットケア外来も開設し、専門スタッフが対応しています。友の会活動、糖尿病療養指導士の育成にも努力をしています。

甲状腺疾患は、潜在的に数多くの患者さんがおられ、県内を中心に、各医療施設からの相談も数多く寄せられています。特に妊娠合併例、診断のつきにくい甲状腺腫瘍例、抗甲状腺剤による副作用例など、時には当院に転院していただいて検査・治療をしています。放射線内用療法の治療施設も併設しており、バセドウ病や甲状腺癌術後のRI内用療法も行っています。この施設は島根県内では、大学病院と当院のみです。

その他、原因の明らかでない電解質異常・低栄養状態などの患者さんや、病態が明らかにされていない患者さんにも積極的に内分泌負荷試験等の内分泌検査を行い、病態解明を行っています。

新内科専門医をめざす初期研修医にとっては、内分泌領域、とりわけ下垂体疾患や副腎疾患の症例の経験が困難と考えられているかもしれませんが、当院は症例が豊富であり、様々な形で経験することが可能です。

